

科目名	身体障害治療学Ⅱ実習			授業の種類	実習	講師名	
授業回数	23回	時間数	45時間 (1単位)	配当学年・時期	作業療法士科3年	後期	必修・選択 必修
〔授業の目的・ねらい〕							
身体機能作業療法の対象疾患について学び、疾患特有の評価法と治療方法、作業療法の特性を生かした治療・指導・援助の方法を学習する。							
〔授業全体の内容の概要〕							
適切な作業療法評価・治療を行うための方法について、実践事例を通して学習する。							
〔講師の実務経験〕							
「2007年4月～2011年3月末まで精神一般病棟、精神療養病棟、精神科デイケア（大規模なもの）を併設した病院に所属する。主な業務は精神科作業療法、認知行動療法を実施していた。2012年～2014年に放課後デイ施設に勤務（非常勤）。知的障害、発達障害、ダウン症児のリハビリに従事した。2015年～2017年に精神一般病棟、アルコール依存症治療病棟、児童思春期病棟を併設し							
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕							
身体作業療法の主たる対象疾患についての治療・指導・援助内容を理解できる。							
回数	講義内容						
1	身体障害の作業療法の基礎（リスク管理を含めて）						
2	身体障害の作業療法の枠組み						
3	身体障害作業療法治療学実践 関節可動域訓練						
4	身体機能作業療法の実践 脳血管障害①						
5	身体機能作業療法の実践 脳血管障害②						
6	身体機能作業療法の実践 脳外傷						
7	身体機能作業療法の実践 不随意運動						
8	身体機能作業療法の実践 筋緊張異常						
9	身体機能作業療法の実践 協調運動障害						
10	身体機能作業療法の実践 物理療法と浮腫の基礎						
11	身体機能作業療法の実践事例 神経変性疾患および神経筋疾患						
12	身体機能作業療法 治療（ニューロリハビリテーションを含め）・作業療法の実際						
13	身体機能作業療法 治療 CI療法						
14	身体機能作業療法の実践 呼吸器疾患（吸引について）						
15	身体機能作業療法の実践 循環器疾患						
16	身体機能作業療法の実践事例 骨・関節疾患①						
17	身体機能作業療法の実践事例 骨・関節疾患②（末梢神経障害）						
18	身体機能作業療法 治療 脊髄損傷						
19	身体機能作業療法 治療 脊髄損傷						
20	身体機能作業療法の実践事例 切断のリハ						
21	身体機能作業療法の実践 廃用症候群・ポジショニングとシーティング						
22	身体機能作業療法の実践 関節リウマチ・ターミナルケア						
23	身体機能作業療法の実践 手の外科・装具療法・まとめ						
	定期試験						

【 準備学習・時間外学習 】

--

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
作業療法学ゴールド・マスター・テキスト身体障害作業療法学 改定第2版		メジカルビュー
図解作業療法技術ガイド-根拠と臨床経験いもとづいた効果的な実践のすべて		文光堂
標準作業療法学 身体機能作業療法学	岩崎テル子	医学書院

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

小テスト・定期試験の結果を合わせてテスト点数の評価を行う。レポート課題提出を合わせて評価を行う。
--